

様式第7号（第21条関係）

番 号  
2023年6月27日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市今宿町5番5号  
団 体 名 NPO法人クレブスサポート  
代表者職・氏名 理事長・吉野 徳親  
電 話 番 号 0952-23-8231

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人クレブスサポート
- 2 事業実施期間 : 令和4年 4月 1日 から 令和5年 3月 31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

<p>■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像</p> <p>佐賀県においてがんになる人、がんで亡くなる人を減らし、がんになっても安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。</p>
--

4 事業の成果

<p>①県民の便益にどのようにつながったのか</p> <p>「がんサロン」には、がん患者・家族ら延べ500人が訪れ、体験を話し励まし合った。コロナ禍ではオンラインによる相談でつながり合った。小中高などに医師やがん体験者を外部講師として派遣する「がん教育」は14校で実施、子どもたちはがんについての正しい知識と命の大切さを学んだ。全国に先駆けて中学3年生を対象に公費で行われている「ピロリ菌検査」について著した書籍「ピロリ菌検査と除菌～佐賀県から胃がんをなくそう～」によって県民は、佐賀県の胃がん対策の先進性について知った一方で、検査や除菌に同意しない親の無関心と無理解によってせっかくの機会を失っている子どもたちの存在も知った。</p>
<p>②佐賀から広がった社会像(該当する活動のみ)</p>

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

## (別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
①がんサロン運営	①がん患者・家族を地域で支えるため 情報交換と交流の場を提供する。佐賀 市『4か所』、小城市、上峰町、有田 町、伊万里市の計8カ所でそれぞれ毎月 1回実施する ②がん患者およびその家族 ③各所に相談員(看護師経験者)、ピ アサポーターらを配置、お茶を飲みな がら語り合う自由な空間を提供し、が ん治療や生活上の不安・悩みなどに ついて相談支援にも応じる	①通年 ②県内	2,212,000	2,212,000
②子どもたちへの がん教育授業の実 施	①子どもたちのがんについての正しい 知識命の大切さを知ってもらう ②小中高校生など ③県教委と連携して学校現場へ派遣す る医師やがん体験者の人選および授業 を支援する	①通年 ②佐賀市	168,000	168,000
③がん対策基金の 贈呈	①ふるさと寄附金を活用し、がんに関 する学術研究や市民活動に対し年間2団 体に各100万円を贈呈する ②がん対策に関する研究や活動を行う 県内の大学、医療機関、市民団体など ③海外のモンゴルで「佐賀方式」を導 入して肝がん撲滅と取り組む佐賀大学 医学部肝疾患センターおよび末期がん 患者の終末期医療と取り組む佐賀県医 療センター好生館緩和ケア部に対しそ れぞれ目録(100万円)を手渡した	①贈呈式6月17日、 6月20日 ②佐賀代々木医学部 肝疾患センターお よび佐賀県医療セ ンター好生館緩和 ケア部	2,000,000	2,000,000
④がん教育支援員 養成講座の開催	①小中高校に派遣するがん教育支援員 の資質の向上を図る ②がん体験者およびその家族 ③単独またはグループで集まり、経験 者や有識者を交えてトークの練習や注 意事項を確認する	①通年 ②佐賀県内(17か 所)	563,857	563,857
⑥書籍「ピロリ菌 検査と除菌～佐賀 県から胃がんをな くそう～」の発刊	①全国都道府県で唯一、佐賀県で行わ れている中学3年生を対象にした「ピロ リ菌検査と除菌」の先進性について広 く県民に知って貰う②県民一般③非売 品として1200部を印刷、600部を県教委 に寄贈、残りは公立図書館や希望者な どに配布した	①3月25日発刊 ②佐賀市	1,704,998	1,653,267
⑦がん情報We b サ イトの運営	① Krebsサポートの理念や活動につ いて全国に発信する ②県内はもとより全国一般 ③必要に応じてホームページのお知ら せ欄などを更新する	①通年 ②佐賀市	170,720	170,720
計			6,819,575	6,767,844

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
①がんサロンの運営	①がん患者・家族を地域で支えるため情報交換と交流の場を提供する。佐賀市『4か所』、小城市、上峰町、有田町、伊万里市の計8カ所でそれぞれ毎月1回実施する ②がん患者およびその家族 ③各所に相談員(看護師経験者)、ピアサポーターらを配置、お茶を飲みながら語り合う自由な空間を提供し、がん治療や生活上の不安・悩みなどについて相談支援にも応じる	①通年 ②県内(8か所)	2,212,000	2,212,000
②がん対策基金の贈呈	①ふるさと寄附金を活用し、がんに関する学術研究や市民活動に対し年間2団体に各100万円を贈呈する ②がん対策に関する研究や活動を行う県内の大学、医療機関、市民団体など ③11月に佐賀大学医学部附属病院小児がんセンターに対し、長期療養中の小児がん患者を癒す大型ロボット購入費として100万円を贈呈予定。1団体は未定	贈呈式【6月17日】 佐賀代がk医学部肝疾患センター【6月20日】 佐賀県医療センター好生館緩和ケア部	2,000,000	2,000,000
③2023佐賀県がん患者大会の開催	①県内のがん患者が集まり、がんについて学び、音楽演奏を楽しむ ②県内のがん患者およびその家族 ③佐賀大学医学部腫瘍内科教授・木村晋也先生の特別講演やがん体験者の体験発表のほかAzband、jyoiful voiicesの演奏を予定	①11月17日 ②佐賀市アバンセホール	2,000,000	2,000,000
④がん体験記「がんとともに生きる佐賀」第二集の出版	①県内のがん患者・家族による貴重ながん体験記を記録して後世に残す ②県民一般 ③佐賀県人(出身者を含む)27名による実名のがん体験記。B6判270ページ。非売品。令和元年に発刊した第一集に次ぐ第二集となる。今回は医師5名による「医師の現場からの声」も収録する。	①10月末発刊 ②佐賀市	2,000,000	2,000,000
⑤がん体験の動画集作成	①令和6年度まで2年間かけてがん教育授業のデジタル化を図る ②県内小中高校の児童生徒および一般 ③がん体験者・家族のがん体験談の音声と画像を収録し、ディスク等の媒体にして県内小中高校に提供する。	①通年 ②県内	2,508,691	2,508,691
計			10,720,691	10,720,691

(別記3) 寄附金活用額

<b>【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)</b>		<b>20,055,226</b>
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	9,055,226
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	8,599,400
	前年度控除額(県事務経費)還付分	455,826
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	11,000,000

<b>【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)</b>		<b>9,334,535</b>
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	6,767,844
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	2,566,691
	返礼品等の調達に係る費用	2,287,382
	返礼品等の送付に係る費用	175,109
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	104,200

<b>佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)</b>		<b>10,720,691</b>
-------------------------------------	--	-------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://saga-ganjouhou.org/houjin>